

サラリーマン的 日本縦断の旅

日本縦断 太平洋ルート *Vol.07* H30/4/27~4/30

【東京 → 館山 → 犬吠埼 → 水戸 / 371km】

[春の房総半島、太平洋側を北上し水戸へ]

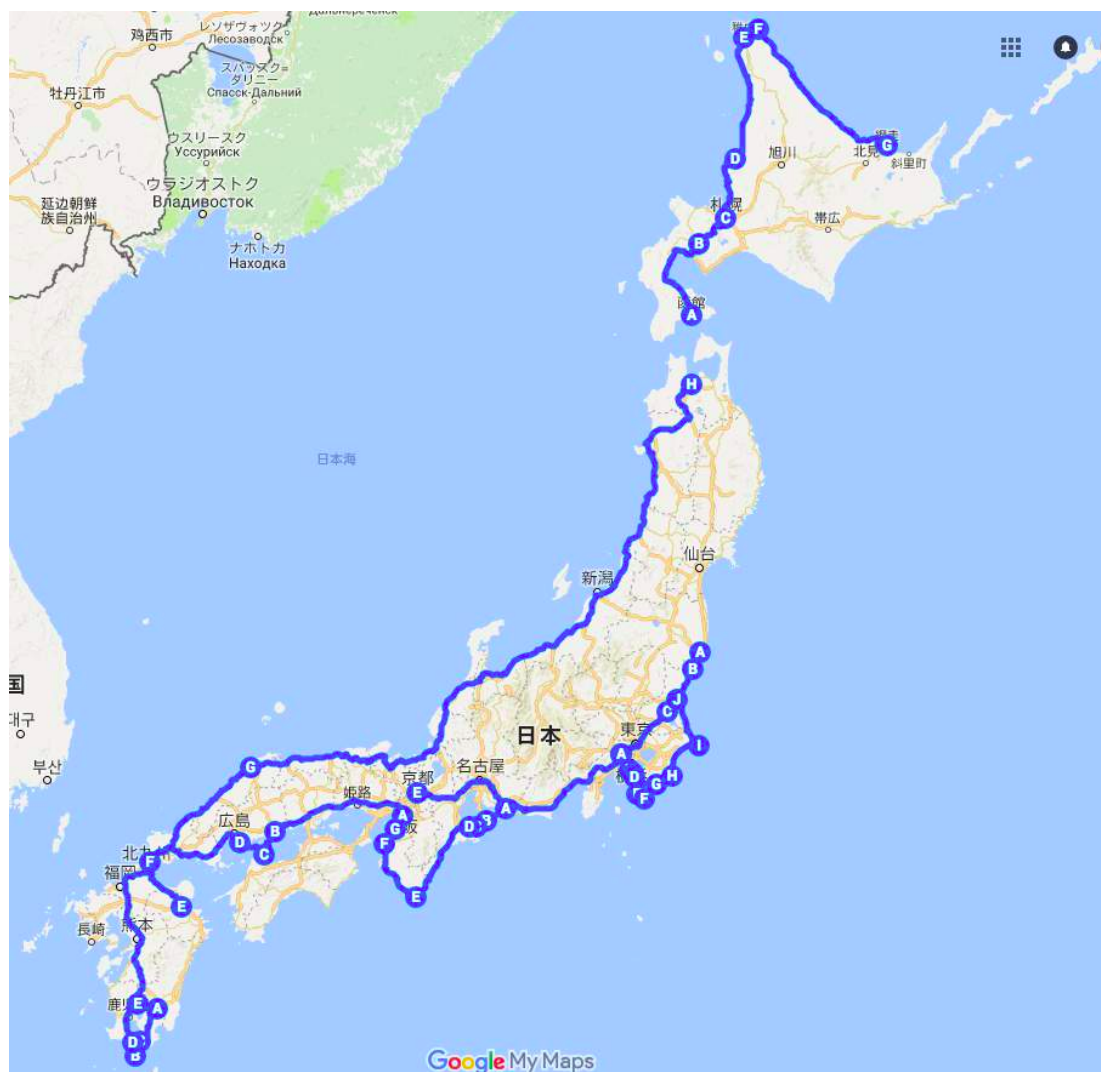


房総フラワーライン。民宿のある館山市相浜までもう少し。花つみの時期はすでに過ぎてしまった。
この地点、高校自転車競技部時代の春合宿の恒例「州埼灯台からの10km TT」ゴール地点。

(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN

距離: 0m / 58.3km
標高: 90m

日本縦断 これまでの歩み(日本海ルート+太平洋ルート)



・日本縦断「日本海ルート」(H27/02/28~H29/06/18に達成)

- ① (第一ステージ) H27/02/28~03/07 鹿児島→出雲 631km (九州&山陰ステージ)
- ② (第二ステージ) H27/07/19~07/26 出雲→新潟 856km (山陰&北陸ステージ)
- ③ (第三ステージ) H28/06/05~06/10 新潟→青森 467km (東北ステージ)
- ④ (第四ステージ) H29/06/13~06/18 函館→宗谷岬 621km (北海道ステージ)

積算走行距離 (鹿児島~宗谷岬) : 2,575 km

・日本縦断「太平洋ルート」(H28/02/27~)

- ① (Vol.01ステージ) H28/02/27~03/02 東京→京都 493km (関東&近畿ステージ)
- ② (Vol.02_1ステージ) H28/09/09~09/11 土浦→いわき 169km (関東&東北ステージ)
- ③ (Vol.03ステージ) H29/03/04~03/08 豊橋→大阪 500km (近畿ステージ)
- ④ (Vol.02_2ステージ) H29/04/22~04/22 東京→土浦 101km (関東ステージ)
- ⑤ (Vol.04ステージ) H29/06/18~06/21 宗谷岬→網走 328km (北海道ステージ)
- ⑥ (Vol.05ステージ) H29/10/05~10/11 大阪→別府 753km (山陽&九州ステージ)
- ⑦ (Vol.06ステージ) H30/01/28~01/30 鹿児島→都城 237km (九州ステージ)

- ⑧ (Vol.07ステージ) H30/04/27~04/30 東京→水戸 371km (関東ステージ) ←今回

積算走行距離 : 2,952 km (+「日本海ルート」との総合計 : 5,527km)

第一日目：4/27(東京多摩地域～館山/千葉県)

- ・ルート：自宅～(国道16号/国道134号)～久里浜港～(東京湾フェリー/所要40分)～金谷港～(国道127号)～館山～(県道257号/房総フラワーライン)～館山市相浜
- ・走行距離：105.91 km 平均速度：21.1km/h 最高速度：45.0km/h 走行時間：5時間00分
- ・天気：☀

前日、帰宅後1時間で出発準備をして、早めに就寝しました。使い慣れているアソカカーのアルミロードバイクでの出陣なので、手際よくパッキングできました。

ひとつだけパンをかじって、7:09に自走にて自宅を出発しました。この日は平日の朝、予想どおり朝の通勤ラッシュに巻き込まれ横浜の中心部を通過するのに時間を要しました。金沢文庫に近くなって、ようやく道路が空きはじめ、走り易くなってきました。金沢文庫の手間で、ファミレス休憩を取り、コーヒーを飲むことにしました。

久里浜からのフェリーは、12:10発。休憩後、のんびりと久里浜港へ向かいました。曇り空で、少し汗ばむ程度で走っていて気持ちがいい。横須賀市内からロードバイクのお兄さんに引いてもらい、久里浜港には11:30前に到着しました。ペースアップできました。



東京湾フェリーターミナルには、平日にもかかわらずツアー客が多く、かなり混雑していました。自転車での金谷行きフェリー乗船は、高校の時以来でした。体力温存のため、フェリーの中では熟睡してしまいました。定刻通り金谷港に、12:50着岸しました。空はどんよりしていました。国道127号を一路館山方面に南下しました。



連休前で交通量は、かなり少なく快走できました。片側一車線の海沿いの国道を南下してきました。途中、館山バイパス入口の「道の駅とみうら」で小休止し、館山からは洲埼灯台経由で房総フラワーラインへ。ここは、高校の自転車競技部時代の春合宿で練習した思い出の地です。ほとんど昔のままでした。

宿は、合宿時いつもお世話になっていた民宿森荘。建物もそのままでした。料理だけで満腹になる海の幸をふんだんに出してくれました。民宿の奥さんと2時間程昔話に花が咲きました。宿泊客は一人だけ。耳を澄ませば波の音がする静かな夜でした。

第二日目:4/28(館山/千葉県～白子温泉/千葉県)

- ・ルート：館山市相浜 ～（国道410号）～ 千倉 ～（国道128号）～ 一宮～（県道30号）～ 白子温泉
- ・走行距離：104.95km(積算走行距離：210.86km) 平均速度：21.2km/h 最高速度：43.7km/h
走行時間：4時間56分
- ・天気：☀

6時過ぎに起床、荷造りをして、表に出て相浜港を眺めていました。海辺の宿に泊まると早朝散策したくなります。高校時代の風景と変わらず、のんびりしていました。

8時前に朝食の準備が出来きたと呼ばれ、一階の食堂に行くと、旅館のような和食がドーンと並んでいました。縦断中は、ビジネスホテルでの宿泊が多く必然的にパン食となります。和食は、自転車乗りには、ほんとうにありがたいです。

天気は快晴、気温も上がりそうなので、朝食後、早々に出発しました。民宿のおじさんとおばさんが手を振って最後まで見送ってくれました。

国道410号線は、連休にもかかわらず、車が少なく気持ちよくペダリングできました。途中、昔行った「ジャングルパレス」を通過し、千倉にある「道の駅ちくら・潮風王国」で小休止しました。海風が心地よく、鯉のぼりがはためいていました。



千倉の先で国道128号線に逸れて、房総半島を北上してきました。海沿いの道には多くの海水浴場がありますが、シーズン前で閑散としていました。気温も上がり、少々バテタので、鴨川にて大休止しました。

鴨川から勝浦まで短いながらもトンネルが続き、後方からの車に神経を使いました。途中、地元のロードバイクのおじさんに先行してもらい、しばらく後ろにくっついて走ることになりました。信号待ちで「どこまで行くの？」と声を掛けられました。信号もすぐさま青に変わり「今回は水戸までです。」と短い会話をしました。

宿泊先の白子温泉に近づき、ようやく平坦路となり、距離を稼げました。九十九里有料道路と並走する県道30号線は、内陸側にあり、太平洋は望めないのが残念でした。この日の宿は、白子温泉のホテル。久しぶりの温泉宿、のんびりと温泉に浸かることができました。

第三日目：4/29(白子温泉/千葉県～犬吠埼～神栖/茨城県)

- ・ルート：白子温泉～(県道30号)～飯岡～(国道126号/銚子ドーバーライン)～犬吠埼～銚子(国道124号)～神栖
- ・走行距離：98.78km(積算走行距離：309.65km) 平均速度：22.5km/h 最高速度：n/a
走行時間：4時間22分
- ・天気：☀

少し早起きをして朝食前に朝風呂に入りました。朝食は和食。テーブルの上には「〇〇様」とネームプレートが置かれていました。やっぱりホテル？

8:10、ホテル東海荘を出発しました。外は快晴、ほぼ無風のベストコンディション。匝瑳市(そうさし)までの県道30号線は、久方ぶりの直線のフラット。2年前の秋田県八郎潟を思い出しました。

飯岡までは海岸から離れた県道30号線を進み、40km地点のコンビニで小休止。結構、疲れしました。飯岡の先で国道126号線に合流し、銚子に入ると、アップダウンが多くなり、風が出てきました！周りを見渡すと、風力発電の風車が。言うことは、このあたりは風が強いということ。風はサイクリスト泣かせです。

犬吠埼までは、予想通りアップダウンが多く、体力を消耗しました。着いた犬吠埼は、天気も良く観光客が大勢いました。太平洋が絶景でした！



銚子漁港の近くで、口の中でとろけるマグロの載った海鮮丼を頂き、大満足でした。日曜日でもあり、どの食堂も盛況のようでした。途中、銚子駅に立ち寄り記念撮影をしました。銚子大橋を渡って、茨城県側へ。銚子大橋には、「歩道・自転車道」がある(確かに進行方向左側にあった)ので、本来自転車は車道ではなく「歩道・自転車道」を通行しなくてはならない？車道を走行していて、「ここ走っていてもいいのか？」と思いつつ、全力で銚子大橋を駆け抜けました。橋の入口は、自転車通行不可の標識はなかったような気がします…。抜き去る車の車速が早く恐怖でした。

鹿嶋より少し手間の神栖には、14時前に到着。銚子からの国道124号線は、直線フラットで、ピストの街道練習をしているようでした。神栖は、工場の煙突が立ち並び、無機質な感じの街に映りました。この日の宿は、ビジネスホテル。ユースと違いプライベートを保てる、落ち着いた場所です。今日の走行距離は、98km程。道もフラットで走りやすく、気持ちのよいライディングができました。

第四日目：4/30(神栖/茨城県～水戸/茨城県)

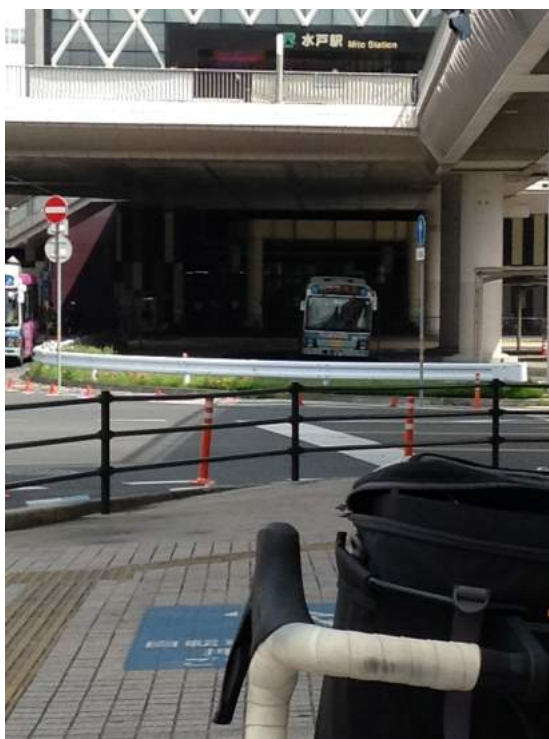
- ・ルート：神栖 ～ (国道124号) ～ 鹿嶋 ～ (国道51号) ～ 水戸駅
- ・走行距離：62.10km(積算走行距離：371.76km) 平均速度：25.8km/h 最高速度：58.2km/h
走行時間：2時間24分
- ・天気：☀

6時に朝食を済ませ、6:30にホテルをスタートしました。ビジネスホテルの朝食は早めスタートのところが多く、縦断中は助かります。早めの出発、早めの到着が基本です。このビジネスホテルの宿泊客の多くは、土地柄か現場作業員の方でした。朝食後は、急ぎ現場に向かう方が多く見受けられました。

神栖から水戸駅までは62km程。国道124号線、国道51号線と道はフラットなもの、少し距離があります。遅くとも、昼過ぎの特急に乗車し輪行して、帰宅する計画でした。

少し急ぎ足で、水戸に向かいました。休日の朝は走り易く、約2時間で水戸市に入りました。予定よりもだいぶ早いので、ファミレスでのんびりコーヒーを飲んで、水戸駅に向かうことにしました。

9:57、水戸駅南口に到着。10:53発の特急ときわ70号で帰京しました。みどりの窓口は連休中でも長蛇の列が来ていました。その場で、インターネットサイト「えきねっと」にアクセスし、指定席予約を行い、目の前の指定席券売機で発券受け取りをしました。本来は12時過ぎの特急の予定でしたが、事前予約していなかったのも、時間のロスなく帰宅できました。



3日半の走行距離は、371km。天気にも恵まれ、久方ぶりに雨具を着て走ることはありませんでした。一日100km程度を4日間連続(最終日は半分)で走り、来るべく1週間以上のロングライドに備える目的は達成しました。昨年の北海道(走行距離949km)で感じたことは、出発の数ヶ月前に同じくらいの距離を踏んでおくと、自信を持って走破できることでした。しかし、機材故障、怪我(日本縦断第一ステージでのアキレス腱周囲炎)など他にも要因があり油断は禁物です。

▷ 『東京→館山→犬吠埼→水戸』を走って… & 今後

▶ ルートについて：久方ぶりの自宅スタート（過去に、東京→京都、東京→土浦で自宅スタート）でした。「鴨川～犬吠埼～水戸」のルート以外は、大昔に走ったことがあるので何となくイメージがつかみ易く助かりました。房総フラワーライン等での多少のアップダウンはあったものの、ほぼ平坦路が続き平均速度も高めでした。特に、4日目の「神栖→水戸駅」間は、縦断中最速の25.8km/hでした。勝浦から御宿までの太平洋がきれいで印象に残っています。

今回、四日間天候に恵まれ雨具を着用することはありませんでした。おまけに、海沿いに走行したにも関わらず、風が吹いても微風で助かりました。前回の鹿児島県佐多岬、嫌という程強風に煽られました。

この時期としては、気温も高めで、水分補給を多めに摂りました。

▶ 装備(ウェア)について：気温の上昇が見込まれ、上は秋仕様と夏仕様の二通りを持参しました。初日のみ、モンベル製のサイクルトレーナージャケット+速乾性のTシャツの二枚着用(秋仕様)。二日目以降は、速乾性のTシャツの上にモンベル製の通気性を備えた半袖サイクルジャージに、日焼け防止のアームカバーを着用(夏仕様)しました。水戸まで夏仕様で走りました。

下は、パールイズミ製ウィンドブレークタイツ(5℃)+尻の部分に3Dパッドを装着しているモンベル製のサイクル ツーリングショーツ(半ズボン)を着用していました。第一ステージ以来続けているように、安全面を考慮し一番上には反射ベストを着用しました。

▶ 装備(自転車)について：今回はアンカー製アルミロードバイクでのライドでした。フロントバック+大型のサドルバックを装着しました。

大型のサドルバックの中には、着替え一式（外出用の薄手のズボン、ジャージ/上のみ、速乾性Tシャツ*2枚、パンツ*2枚、予備靴下*1枚、半袖サイクルジャージなど）、登山用のゴアテックス上下セパレートタイプの雨具、予備チューブを入れました。持ってみるとかなりの重量となりますが、走行中支障がでることはありませんでした。

▶ 車両トラブルについて：パンクも含め車両トラブルは全く有りませんでした。前回の、鹿児島→佐多岬→都城では、チェーンから少しですが異音(キリキリ音)がしました。注油後も完全に解消されず、今回はチェーンを新品に交換して望みました。しかし、最終日、またしても同じ症状が。オイルは携行しておらずそのまま水戸駅まで走りました。スプロケの摩耗？なのか、一度ショップで確認するつもりです。

フロントタイヤはH27/7の日本縦断第二ステージの福井で交換したパナソニックのパセラ(700C×25C)をそのまま装着して走行しました。リアは、日本縦断第三ステージ(H28/6 新潟→青森)の直前に交換したパセラ 25C を装着しての走行でした。リアタイヤはそろそろ交換の時期のようです。なお、このタイヤに交換して、パンクはありません。

▶ 日程について：今回、371kmを3日半間で走破しました。一日平均106kmほどです。連休中にも関わらず、房総半島は車も少なめで、アップダウンも少ないので平均速度も上がり、かなり余裕を持った日程となりました。練習の側面もあるので、ちょうど良かったと思います。但し、海沿いに行きましたので、真夏時、海風などの強風時など時期やコンディションにもよりかなり左右されると思います。

▶ 今後の日本縦断の計画について：今年は、まとまった休みが取得しにくく、日本海ルート時のように4分割といったペースで走ることはできません。従いまして、少しずつ未走破のルートを詰めて行きます。

■ 参考資料（地図）：
ライトマップル 関東道路地図 1:200,000 昭文社

■ ルート検索：
NAVITIME(PC版) 自転車ルート検索「大通り優先」を走行 <http://www.navitime.co.jp/bicycle/>

■ 主な宿の予約手配：
じゃらん(白子温泉、神栖) <http://www.jalan.net/>
宿への直接電話予約(民宿森荘/館山市相浜)

■ 自転車の輸送方法：
往路 → 自走。
復路 → 水戸駅より輪行。常磐線ときわ70号品川行き

まだまだ日本縦断・太平洋ルートの旅は続きます。

以上。